

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん、こんにちは！伴野豊です。知多半島を中心にコツコツ歩き、お一人お一人と直接お会いしてお話させて頂く、いわゆる昔ながらのアナログ的な活動の他、ブログを毎日綴りながら Facebook で交流する、いわゆるデジタル的な活動も同時に行っている昨今です。ばんの豊 Facebook ページによる活動も始めましたので、今までのブログと合わせてご覧頂けましたら幸いです。また、さる6月13日には東京地区の後援会活動も再始動していただき、「時代を拓く破竹の会 2013」を開催して頂きました。海江田万里代表、細野豪志幹事長はじめ多くのご来賓にご臨席頂き、ご激励を賜りました。多くの皆様方のご厚情に改めて感謝申し上げます。皆様方のそうしたご支援によって今日も活動できていることを衷心より感謝申し上げ、ご期待にそえる活動をしっかり続けて参ることを改めてお誓い申し上げます。

伴野豊の気になる国土交通政策

今回はインドの高速鉄道受注の動きについて述べたいと思います。先月末、インドのシン首相が訪日された際に、インドの高速鉄道計画に関して、日本とインドで共同調査を行なうことで一致し、日本が受注を目指す新幹線システムの採用に向けて大きく前進した模様です。

この件については、私が外務副大臣、国土交通副大臣時代にも手掛けていた計画なので報道通りであるとすれば、大変喜ばしい事です。

このインド西部ムンバイ⇄アーメダバード間（約 500 キロ）の高速鉄道計画については、両国で出資し、安全性などに関する共同調査に着手することで合意。日本側が目指す新幹線システムの受注の可能性が高まったということです。ただし、フランスも2月に共同調査を行なうことで合意し、10月までに報告書を提出するとしており、まだまだ予断は許されない状況です。

私が外務副大臣、国土交通副大臣時代に、インドを始め日本の新幹線システムに興味を抱いていた国々の首脳には、いつも次のように伝えました。「世界の鉄道で新幹線と真に呼べるのは、日本の新幹線だけであり、その新幹線は開業以来、お客様の死亡事故ゼロであり、それを支えているのは不断の努力の結果としてのメンテナンス力にある」と。

また、このメンテナンス力は、国柄、産業レベル、サービスレベルをはじめ、行き着くところ人の教育に関わる大変重要な力であること。同時に各国首脳に理解して頂くように尽力しました。また、外務省、国土交通省にはそういった事も十分伝え、その国の国柄等に相応しい「高速鉄道」を提供するように指示しました。

いずれにしても、日本の高速鉄道技術が認められ、各国の発展に寄与することは、我が国の国家戦略上も大変喜ばしい事です。

伴野豊の気になる本



今回の伴野豊の気になる本は、石川拓治著「奇跡のリンゴ」です。サブタイトルに、「絶対不可能を覆した農家、木村秋則の記録」とあります。偉業を成し遂げる人、あるいは、人類に影響を与える人、歴史に名を残す人。そのような人々は、ここまでやらないとそのような領域に達しないということなのでしょう。凄まじい生き様。実際にやったという迫力。根っこが重要であること。地表に出ている目に見える部分よりも、目に見えない、日頃隠れている根っこが大切。根っこが伸びて大地にしっかり根を張れているか、否か。人生訓でもある。

さらに、笑顔、ユーモア、家族の大切さ。生かされている喜びと感謝。人類の行く末。農業のあり方。いろいろ考えさせられます。映画もイイですけど、本は本でこれもイイ!! その気になれば、すぐ読めます。 幻冬舎文庫（定価：本体 533 円＋税）



伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

